

刑 法

注 意 事 項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙は 1 枚だけ配付します。
- III 解答にあたっては、黒のボールペン・黒インクのペンのいずれかを使用してください（ただし、インクがプラスチック消しゴムで消せないものに限りません）。それ以外で解答用紙に記入した場合は、無効とします。
- IV 解答を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1 行の場合には横線で消して、その次に書き直してください。修正液・修正テープを使用してはいけません。
- V 設問が複数の場合は、解答用紙に設問番号を明記したうえで、解答してください。設問番号の記入がない場合は、無効とします。
- VI 試験時間は 80 分です。
- VII 問題は 1 ページにあります。

刑 法

下記の文章を読んで、XとZの罪責について論じなさい。

Xは出会い系チャットで知り合ったY女と親しく交際していたが、些細なことと言いつ争いになり悶々とした日々を過ごしていた。XはY女に費やした時間及び貢いだ金銭の多寡を思うと怒りに打ち震え、復讐のためY女のあられもない姿をネットに晒して辱めることを計画した。Xは、「自分が全く悪かった、これまでのことを心から謝罪したい、あと部屋の合いかぎを返したい」等と甘言を弄して巧みにY女が住むマンションの部屋を訪問し、Y女が油断したすきを見て、襲い掛かり、Y女の目のあたりをガムテープでぐるぐるに貼って前が見えない状態にし、さるぐつわをかませ、顔面に油性マジックで落書きをすると同時に、服を全て脱がし、抵抗するY女を押さえつけてロープで全身を激しく緊縛し、持っていた自分のスマートフォンでY女のあられもない姿を近接して撮影した。アングルを変えながら、すみずみまで撮影した後、無理やり脱がしたY女の服のポケットに現金の入った財布とY女のスマートフォンを発見し、縛られたままぐったりとしたY女を横目に見ながら財布の中の現金を遊興費にあてようと思い抜き取った。また、Y女のスマートフォンには自分とのSNSを介したやりとりが記録されていると考え、後に犯行が発覚したときの証拠になるかもしれないと思い、どこかに捨ててしまおうと考え、自分のカバンの中にしまった。

Xは緊縛されたY女を放置したまま、彼女のマンションを出て、繁華街をうろついていたが、不良仲間です分のZに出会い、事情を話してスマートフォンをどこかに捨ててくるように依頼した。依頼を受けたZは、普段世話になっているXのために、当該のスマートフォンを近くに流れている大きな川に投棄した。